

広報 つきがた

No. 98

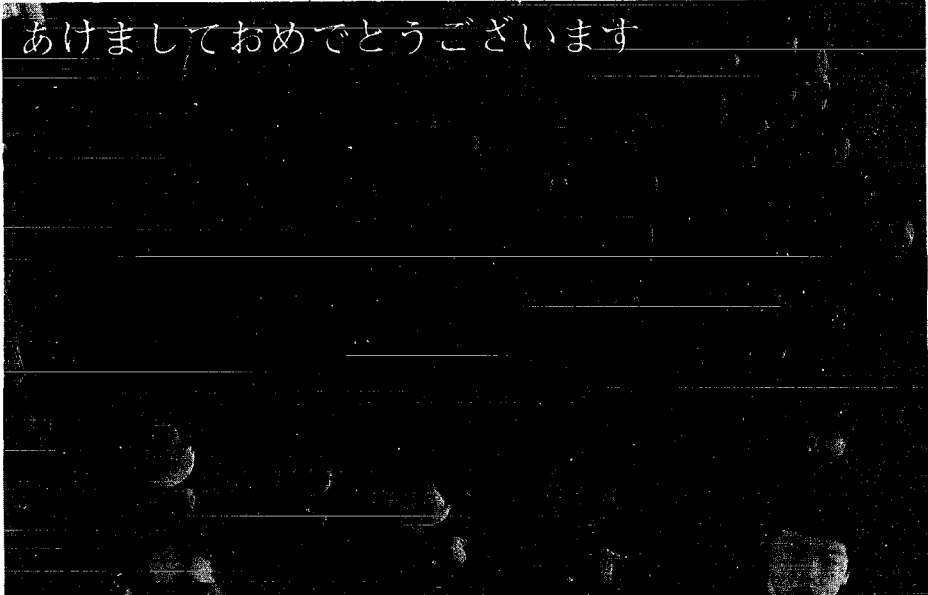
昭和53年1月10日発行

発行/新潟県月潟村役場

毎月10日発行 1部10円

(昭和52年7月22日第三種郵便物認可)

人口動態	12月31日現在		12月中の移動			
	世帯数 795 (男 1,880)	人口総数 3,857 女 1,977)	出生 3	転入 4	死亡 3	転出 5



あけましておめでとうございます

謹賀新年

月潟村長

金子 由一郎

昭和五十三年の新春を迎え、謹んで皆様の御健勝をお喜び申し上げます。昨年同様、長期化する不況に加えて、後半の急激な円高などもあって、このための失業者も百万人を超えたと言われ、日本経済は波乱のうちに年を越しました。

このような状況の中で、本村の行政も例外ではなく、苦しい一年でありましたが、幸い皆様方の暖かい御支援と御協力により、長年にわたる村民待望の役場新庁舎の完成を始め、道路、教育、福祉など、全般にわたってほぼ初期の目標を遂げることができました。

これも偏に各位の御協力の賜と厚く御礼申し上げます。さて、本年は何んと言っても不況から脱却できる年でありたいと願っています。

第一には、米の生産調整という大問題があります。これに関しましては、農家の意向を十分に汲んで、村の実情を検討しつつ、目標達成に努力したいと考えております。皆様の御協力をお願い申し上げます。次第であります。

又、農村地域工業導入特別対策事業の就業改善センターの本年度

着工(昭和五十四年度完成)と農村総合整備モデル事業計画地区の国の指定を受け、実施計画策定に全力であたる所存であります。

更に土木、教育の面で、一般農道整備事業の推進、村道の整備、村誌編纂の完了、小中学校の米飯給食施設の新設などを計画し、福祉の充実と併わせて重点的に推進いたします。

商工振興では、その拠点ともいえる商工会館の建設助成を中心に、地場産業の振興を行ない、あわせて、非常に厳しいとは思いますが、村民の就労の場の確保のため、企業誘致にも努力いたします。

兎に角、昭和五十三年も厳しい財政事情のなかで、山積している諸問題を解決していくためには、極めて困難なものが予想されますが、私を始め、庁内全職員が一体となって、精一杯努力する覚悟であります。

今後とも、村民各位の絶大な御支援と御協力をお願い申し上げますと共に、皆様の御多幸と御発展をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。